



2025年3月25日

各 位

会 社 名 GFA 株式会社
代表者名 代表取締役社長 片田 朋希
(コード：8783、スタンダード市場)
問合せ先 経営企画部 部長 谷井 篤史
<https://www.gfa.co.jp/form/corp/>

上場企業へのエクイティファイナンス投資に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において決議し、Seacastle Singapore Pte.Ltd(以下、「Seacastle」といいます。)による上場企業へのエクイティファイナンス事業に対して、投資することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 投資の理由

Seacastle は、シンガポールを拠点として日本国内を含めて、エクイティファイナンス事業などを行う海外ファンドであり、当社のみならず複数の日本国内上場企業に対して投融資を継続的に行っており、その多くは純投資ではあるものの日々の取引において企業価値を毀損することなく投資利益を出ております。

また、Seacastle は、日本の株式市場における投資家として存在感を増しつつあり、今後も拡大を企図しているところに、過去のエクイティファイナンスにおいて発行体と win-win となった案件の実績などから並行して継続的に案件が舞い込んできていることから、資金力の強化を検討している状況でありました。

当社および当社グループでは、現在、事業の再編の一環としてM&Aを推進するとともに、当社自身も他の上場企業の第三者割当増資の割当先となるなど、エクイティファイナンスについても積極的に取り組んでおり、今後も拡大していく意向があります。

一方で、当社は、M&Aにおいて幅広い事業を取得し再生もしくは拡大後に売却を行うなどのM&Aを積極実施する中で、安定的に利益を出せる相手先があるようならば一部のエクイティファイナンスについてパートナーとなり得る相手先を検討しておりました。

Seacastle は、2025年1月8日付「第三者割当による新株式及び第16回新株予約権、第17回新株予約権の発行に関するお知らせ」の開示のとおり、当社の割当先でもあり、良好な関係性を築いていたこと、また従来より Seacastle の選定する投資対象が当社の引き受けを想定する上場企業のニーズや条件等とともに親和性があり魅力的であったこと、当社への増資の引き受けも含めて純投資の面とファイナンスによる資金調達を合わせた Seacastle の投資スタンスに当社自身の投資の方向性とも共感性が高いと感じていたことから、両社で協議し今般の投資について合意いたしました。

2. 投資先の詳細

Seacastle Singapore Pte.Ltd

| | |
|-------------|--|
| ① 名 称 | Seacastle Singapore Pte.Ltd |
| ② 所 在 地 | 60 Paya Lebar Road, #11-37 Paya Lebar Square, Singapore 409051 |
| ③ 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 Tang Koon Heng |
| ④ 事 業 内 容 | 海運管理業務及びファイナンス |

| | |
|-----------------------|--------------------------------------|
| ⑤ 資 本 金 | 50,000 シンガポールドル |
| ⑥ 設 立 年 月 日 | 2006年11月9日 |
| ⑦ 発 行 済 株 式 数 | 1,000,000 株 |
| ⑧ 決 算 期 | 12月 |
| ⑨ 従 業 員 数 | 5名 |
| ⑩ 主 要 取 引 先 | 一般法人 |
| ⑪ 主 要 取 引 銀 行 | DBS 銀行、OCBC 銀行 |
| ⑫ 大株主及び持株比率 | Tang Koon Heng 100% |
| ⑬ 当 事 会 社 間 の 関 係 | |
| 資 本 関 係 | 2025年1月8日付で発行した新株式及び第16回新株予約権の引受先です。 |
| 人 的 関 係 | 該当事項はありません。 |
| 取 引 関 係 | 該当事項はありません。 |
| 関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況 | 該当事項はありません。 |

3. 投資内容

| | |
|----------|----------|
| (1) 投資金額 | 967 百万円 |
| (2) 投資対象 | 日本国内上場株式 |

4. 今後の見通し

本件変更が2025年3月期の業績に与える影響は精査中ですが、今後の業績に与える影響について開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上